

一般社団法人日本コンクリート診断士会
第27-6回理事会議事録

1. 日時：平成27年5月26日（火）11:00～13:25

2. 開催場所：相互半蔵門ビル地下1階 アイニファンファン会議室

3. 議題

- (1) JCD 第6回定時社員総会の進め方と役割分担について
- (2) 各部会の今年度業務計画
- (3) 各地区診断士会の連携，交流対策について
- (4) 各地区診断士会から行事等案内
- (5) その他

4. 資料

- (1) JCD平成27年度台6-6回理事会議事次第
- (2) 第6回JCD定時総会時間予定・役割分担（案）
- (3) 平成27年度定時社員総会資料
- (4) 第3回全国業務体験発表会及び現場見学会（案）
- (5) 26年度収支決算（案）（修正分）
- (6) JCI「インフラ整備・維持管理における技術者資格の活用について」の講演会のご案内

5. 出席者

理事：林会長，小野副会長（途中退席），佐藤副会長，石川理事，原田理事，岡崎理事，奥田理事，奥村理事，米倉理事，名倉理事，日堂理事，岸川理事，奈良理事，田澤理事（途中退席），井田理事，竹内理事，毎田理事，伊藤監事，田畑監事
オブザーバー：小林（岡崎理事代理），天野（名倉理事代理），倉科（日堂理事代理），後藤（大分），星野・木村幹事 以上22名

6. 議事

理事会の開始に当たり議長を会長に選出した。以後，会長が議長となり議事を進めた。その後，理事他の自己紹介がなされた。

6.1 第6回定時社員総会の進め方と役割分担について

- ① 事務局長より，約70%の委任状が提出された旨の報告がなされ，各地区の会事務局へのお礼を述べた。
- ② 資料（2）に基づき総会時の役割を確認した結果，下記の変更を行った。
 - ・1号議案の監査報告は，伊藤監事が行う。
 - ・2号議案の財政および収支計画の説明は，竹内理事が行う。

6.2 各部会の今年度業務計画

6.2-1 企画部会（国交省資格認定関連対策等）

資料2に基づき石川理事より企画部会報告があり，この中で下記の発言があった。

- ① 国交省の技術者認定について今後どのように活動していけばよいのか？検討していく必要が

ある。

6.2-2 技術部会（第3回業務体験発表会の企画等）

資料2および4に基づき奥田理事より第3回業務体験発表会について下記の報告があった。

- ①11/27に金沢で開催予定である等の説明があった。
- ②印刷についてはこれまで通りに事務局で行う予定である。
- ③CPDを事務局の方でとっておいて欲しいとの発言があった。
- ④見学会を11/28に実施予定で、東京+石川+長野+新潟の共催で行いたいとの発言があった。
 - ・協議の結果、福井も加えることになった。
 - ・参加者数21名は最低の数で、増えるようならば早めに対応する。
- ⑤今後、業務体験発表会の開催を地区の会と共催する場合について下記の討議がなされた。（共催時のルール）
 - ・論文募集：従来通り
 - ・費用等の分担：現地で発生する人等に関する費用→共催側で負担
会場費、資料印刷費、その他諸費→JCDで負担
 - ・開催候補：立候補制とする。隔年で地区の会との共催で検討する。
 - ・内容：特別講演は、時間の都合で行わない。

6.2-3 広報部会（かわら版発行その他）

資料2に基づき岸川理事から下記の報告があった。

- ①2つの地区の会の入会、メールかわら版を4回/年発行を目指したい。
- ②メールかわら版での地区の会紹介は2地区の会/回とする。次回は、鳥取+島根である。
- ③次回の部会紹介は、企画部会で、総会報告も入れる。

6.2-4 会員部会（未加入・設立準備地区診断士会対策、会員増対策等）

資料2に基づき奈良理事から下記の報告があり、特に②の取り扱いをどのようにすればよいかについて発言があった。

- ①奈良県に診断士会が設立される。6/8の設立総会に小野副会長、石川、竹内両理事が参加する。
- ②宮城県コンクリート診断士会が法人として入会したいと言っている。
 - ・この取り扱いについては、会が法人として入会することには反対意見が多かった。特に、費用を安くするなど入会を認める理由にならない。
 - ・宮城県コンクリート診断士会には、他地区と同様の形（個人会員としての入会）での入会をするように、また本会の設立趣旨をよく説明した方がよいとの発言があり、これらを踏まえて今後の事務局長が協議することになった。
 - ・協議は、メールではなくやはり電話、会って等直接話した方がよいとの意見が出された。
 - ・法人会員の入会承認は、理事会の決議事項であると返信している。
- ③福岡県にもコンクリート診断士会が設立された。
 - ・福岡の方の会が事務を行う場合、主任技士は関係ないのでどのように思うかという問題があ

る。

- ・コンクリート診断士は正会員になり，他は，希望すれば賛助会員になるなど方法はある。
- ・福岡については，佐藤副会長から働きかけてもらうようになった。

④山口県については，前向きに進めているとのことであった。

⑤富山は，入会する方向で進めているとのことであった。

⑥熊本は，特殊なグループ，工法協会のようなものである。

⑦今後，地区の会の定義が必要ではないかとの発言があった。

6.2-5 財務部会（財務の健全化，適正化対策等）

資料 2 に基づき井田理事から下記の報告があった。

①26 年度は，財政健全化のために中間決算を行った。今年度も引き続き実施予定である。

6.2-6 事務局（事務局業務の効率化，適正化について等）

資料 2 に基づき毎田事務局長から下記の報告があった。

①事務局業務は，慣れもあり効率的に行えるようになってきた。

②いろいろな問い合わせが増加してきた。

上記については，受託業務との関係があるのでリスクのない範囲で検討している。

③総会資料の修正について資料 5 をもとに事務局より説明した。

6.2-7 その他（報告事項）

①地区の会からの説明方法を変えたらどうかとの発言があった。例えば，PPT を用いるなど。

②方法についてはこれまで通りとするが，資料を A3 で 2 ページくらいにまとめることになった。

6.3 各地区診断士会の連携，交流対策について

①地区の会の連携について毎田事務局長より，横の連携をより活発にして欲しいとの要望があった。

②これについては，企画部会で検討することになった。

6.4 各地区診断士会から行事等案内

①周年事業について

・鳥取・島根：9/11 の 13:00～20:00 に松江で 10 周年記念講演他を行う予定である。

・東京は，11/11 に 10 周年記念を予定している。

②技術セミナー他の連絡をもらえれば HP への掲載をできるので活用して欲しい。なお，この場合の参加費について JCD の準会員扱いにするなど便宜を図って欲しい。

6.5 JCI 年次大会（幕張）における国交省技術者資格の活用に関する講演について

資料 6 について毎田事務局長より下記の説明があった。

- ・講演会で、診断～点検の違いについて質問するのは問題ない。
- ・コンクリート診断士が、点検のみになった理由は応えてくれないだろう。
- ・どのようにしたら認定してもらえるかについてならば答えてくれるかもしれない。
- ・どのような質問をするのか JCI に事前に連絡して欲しいとの依頼があった。
- ・事務局でできるだけ克明に記録して欲しいとの要望があった。

伊藤監事より下記の発言があった。

- ・点検・診断の違いは？→経験の差だろう。
- ・コンサルの発注を対象にしているのではないか。

6.6 その他

①3/31のJCIとの意見交換会の結果について小野副会長から口頭で下記のように説明した。なお、下記の説明内容は、JCDの判断であることを話しておいて欲しい。

- ・構造に関する知識が不足していると判断されている。JCIでは改善していく予定であるとのこと。
- ・認定されたのは、橋梁の点検のみであった。過去5年間の試験問題で判断されたようである。よって、今後は構造に関する問題は増えそうである。
- ・議事録を公表して欲しくないとのJCIからの申し入れがあった。
- ・総会での発言を議事録に残してはどうかとの発言があった。
- ・実務経験が少ないことが認定されなかった理由の一つかもしれないとの発言があった。

②JCDのロゴの入った理事の名刺を作ってはどうかとの提案があったが、特に必要がないとのことで作成しないことになった。

③理事会メンバーのメーリングリスト化について発言があり、事務局の方で確認し、多少費用がかかってもメーリングリスト化することになった。

文責：木村（事務局）